

ニッポン 再興!

OSAKA

NAGOYA

TOKYO



リニア中央新幹線
大阪—名古屋—東京、1日も早い全線開業の実現を!

リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会

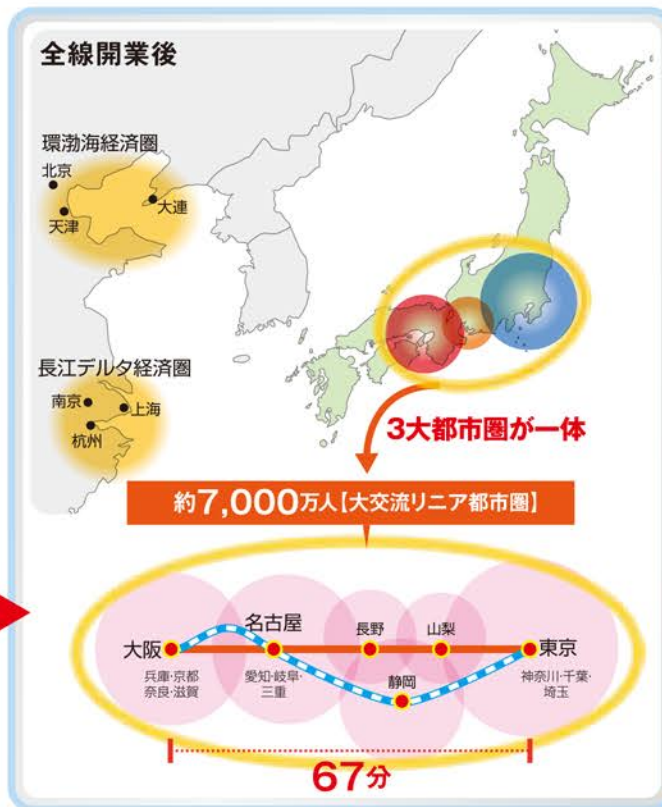
3つの核を持つ巨大経済圏の誕生でヒト、モノ、コトが動き出す。

(大阪—名古屋—東京を1時間でつなぐ巨大経済圏)

1 日本の国際競争力を向上

成長著しいアジアの巨大経済圏に対抗

リニア中央新幹線の全線開業が実現することで、3大都市圏が一体化し、人口7,000万人、国内総生産約300兆円(日本のGDPの約6割を占める)の世界最大のスーパー・メガリージョンが形成され、成長著しいアジアの巨大経済圏に対抗することができます。

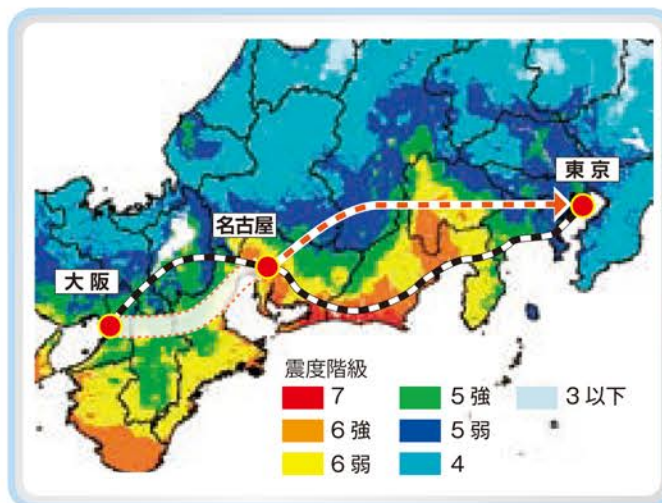


※「大交流リニア都市圏」は「中央新幹線沿線学会」が「リニア中央新幹線で日本は変わる」2001(H13)年8月を参考に、東海道・中央新幹線の15都府県を想定
※人口は2010(H22)年国勢調査人口等基本集計結果に基づき作成
※国内総生産は2011(H23)年県民経済計算統計表に基づき作成

2 日本の大動脈を二重化

東西の断絶リスクを大幅に軽減

リニア中央新幹線の全線開業が実現することで、日本経済の大動脈である、大阪—東京の二重化が完成。今後30年以内に60%~70%の確率で発生するとされる南海トラフを震源域とするM8以上の大地震発生等による、東西の断絶リスクを大幅に軽減することができます。

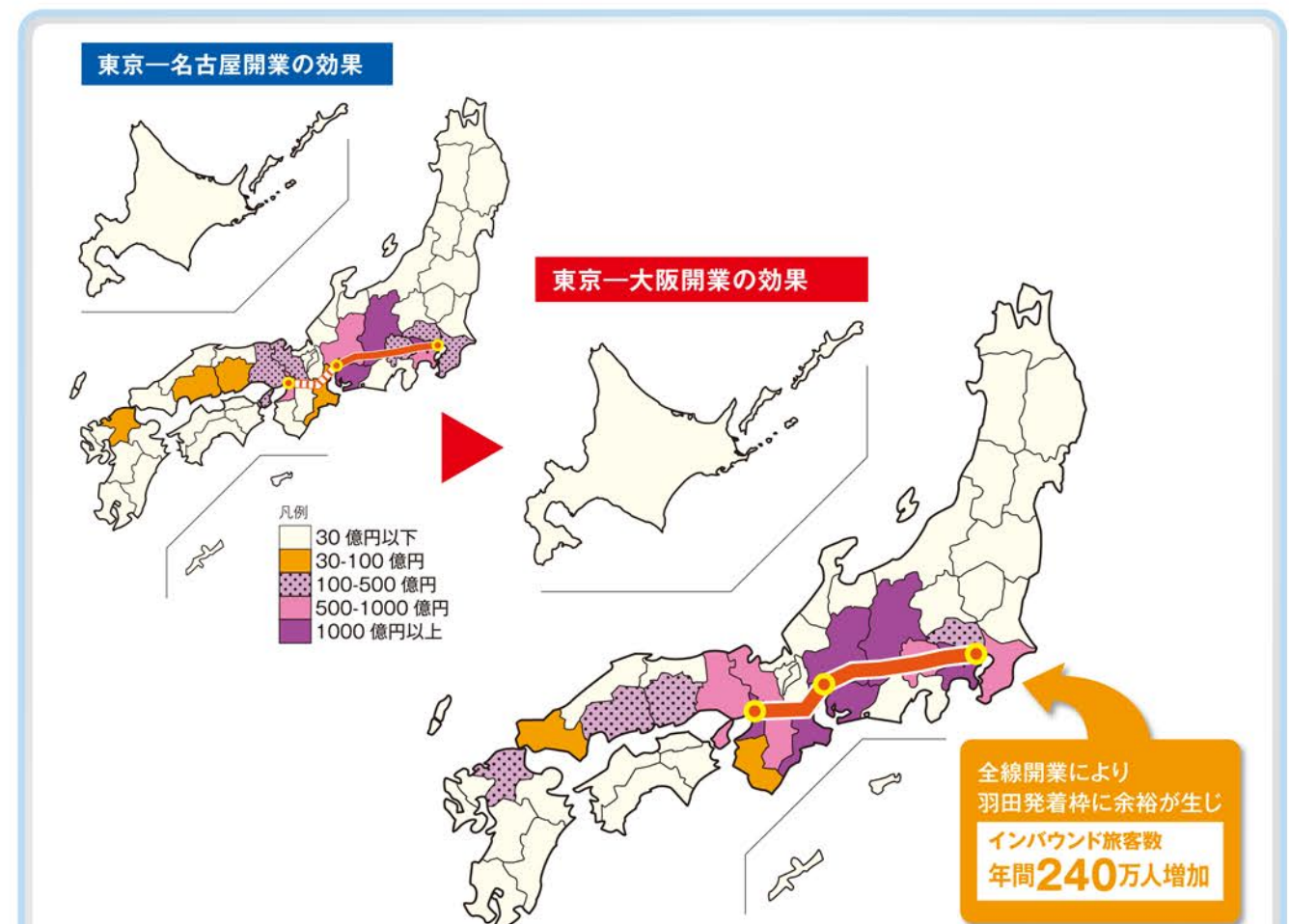


出典:内閣府南海トラフの巨大地震モデル検討会(2012(H24)年8月29日)の地表震度分布図(陸側ケース)を基に作成

3 日本経済を活性化

全国の広範囲に経済効果が波及

リニア中央新幹線の全線開業が実現することで、名古屋までの暫定開業に比べ、更なるビジネス効率の向上・観光需要創出等により、全国で年間6,700億円の経済効果を創出します。その効果は首都圏、中部圏、関西圏のみならず、中国、九州地方など全国の広範囲に波及します。



開業による経済効果 (全国・年間)	東京—名古屋開業	東京—大阪開業
合計	8,900	15,600
産業活動誘発効果 (ビジネス)	4,400	7,100
観光誘発効果 (国内観光)	2,200	3,300
観光誘発効果 (インバウンド)	2,300	5,200

(単位:億円)

効果差
年間6,700億円